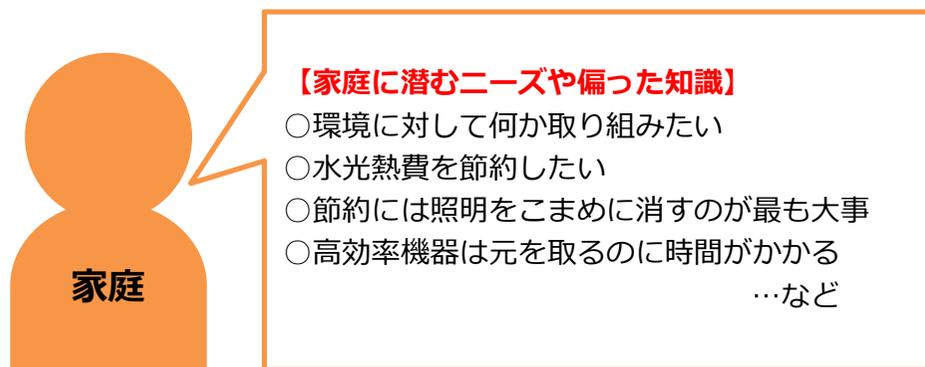


「家庭エコ診断」とは、専用の診断ソフトによって、各家庭のCO2排出量の内訳を推計、効果的な対策及び光熱費の削減効果等を推計し、**各家庭のライフスタイルに合わせた省エネ・省CO2対策の提案をする**ものです。

各家庭では、自らの生活においてどこからどれだけCO2が排出されているのかを「見える化」できるとともに、効率的に省CO2・省エネ対策を行うことができる、「気づき」から実際の行動への移行を後押しする、家庭部門における地球温暖化対策の推進のための事業です（平成26年度に診断の制度化を目指す）。

「うちエコ診断ポータルサイト」HP：<http://uchieco-shindan.go.jp/>

① うちエコ診断の役割



専門の診断員によって直接アドバイスを行うことによる**効果的な行動の促進**

専用ソフトによるCO2の「見える化」

診断員

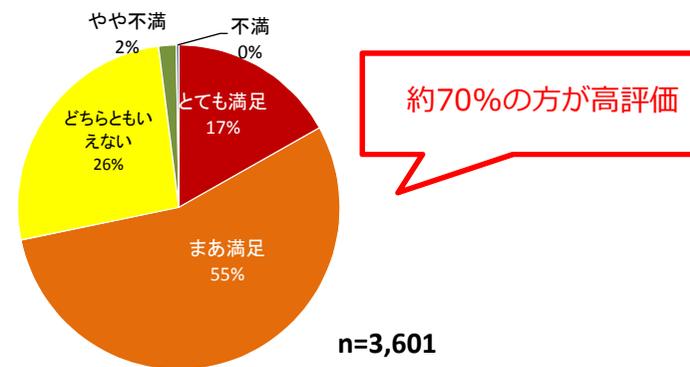
診断員による家庭の状況に応じた対策提案

② うちエコ診断の効果

平成23-24年度うちエコ診断事業におけるCO₂みなし削減量



平成24年度診断員による提案内容の受診者の評価



「うちエコ診断」の内容について（診断のイメージ）

Point 1

エネルギー消費状況の把握
（立ち位置の確認）

こちらがあなたのおうちの光熱費から計算したCO2排出量です。平均的な家庭と比べて、少しCO2排出量が多いようですね。心当たりはありますか？

診断員

Point 2

CO2の排出内訳の分析
（CO2の見える化）

照明などは確かに結構取り組まれているんですけどね。それでは、おうちのCO2排出量の内訳を見てみましょう！

あなたのおうちでは、給湯からのCO2が多く出ていますね。また、冷蔵庫からも比較的多く出ています。

診断員

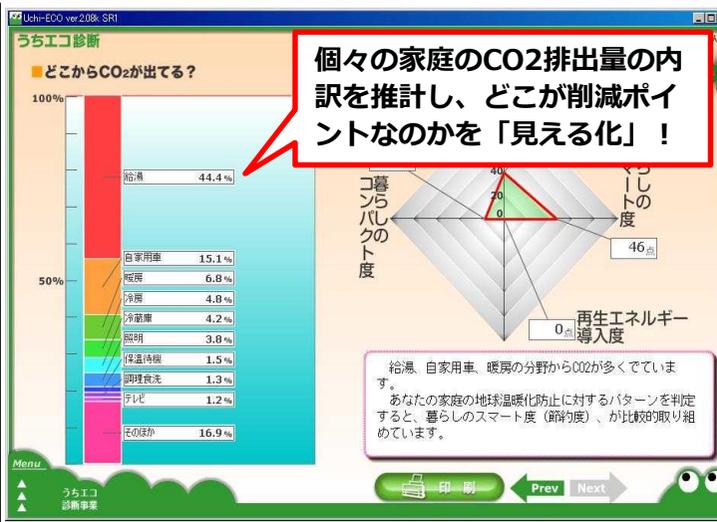
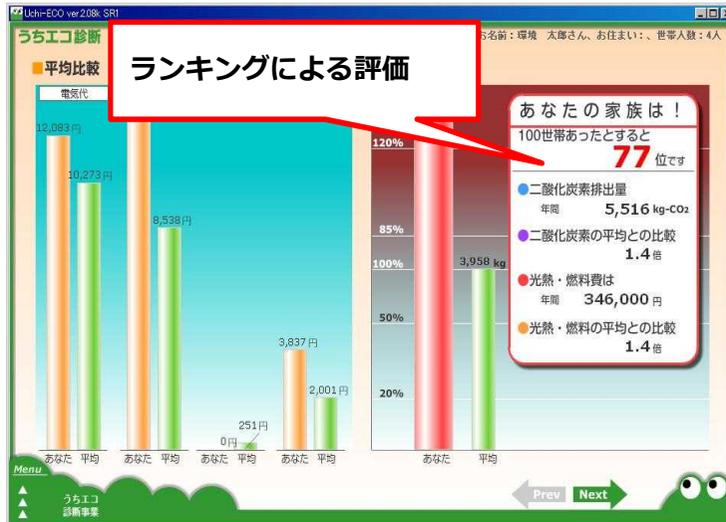
Point 3

分野別対策検討
（具体策の認知）

意外と使いすぎているところには気付かないものですよ。それでは、手軽に取り組めるところで、節水シャワーヘッドの取り付けなどは結構効果的ですよ。

冷蔵庫も2台目をあまり使わないなら、1台にはいかがでしょう？

診断員



受診者

ランキング低いですね…（がっかり）
こまめに電気を消すなど、気をつけて生活していたはずなのですが…。

どこに気をつければ良いのですか？

受診者

え！？給湯ですか？
普通に毎日家族がシャワーを浴びているだけなのですが…。

冷蔵庫は2台あるので、確かに使いすぎているかもしれません…。

受診者

シャワーヘッドは手軽にできますね！
冷蔵庫もそろそろ古くなってきたので、
買い換えの時に考えてみます！

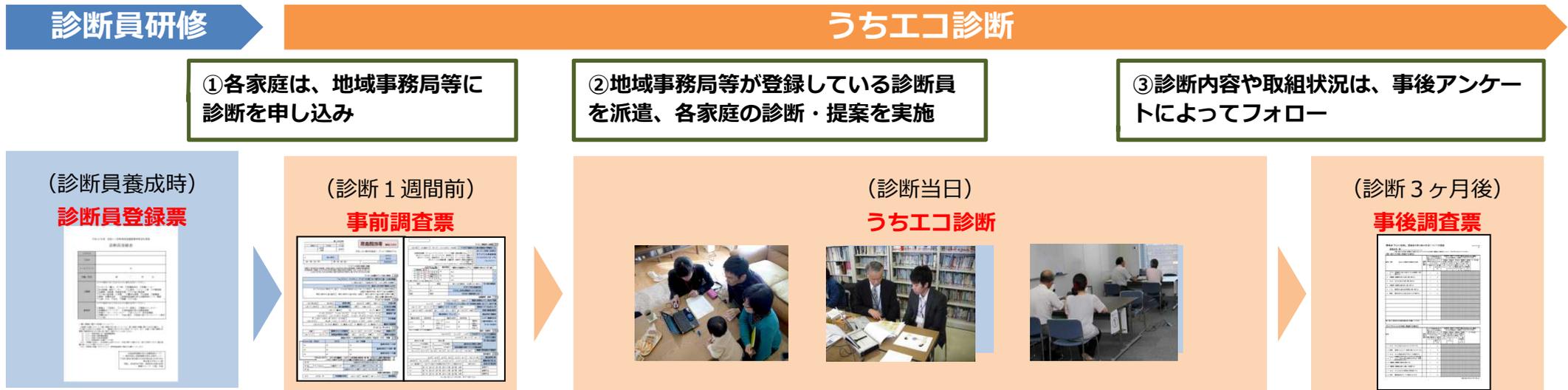
どこに気をつけて省エネをすれば良いか、
参考になりました！

「うちエコ診断」の流れと「家庭エコ診断士（仮）」について

「うちエコ診断」は研修を受講した診断員が診断を行います。お申し込みいただいた家庭では、事前調査票から診断実施後のアンケートによるフォローなど、一連の流れによって行われます。

また、平成26年度からはこのような診断を行う方を「家庭エコ診断士（仮）」として資格制度化する予定です。

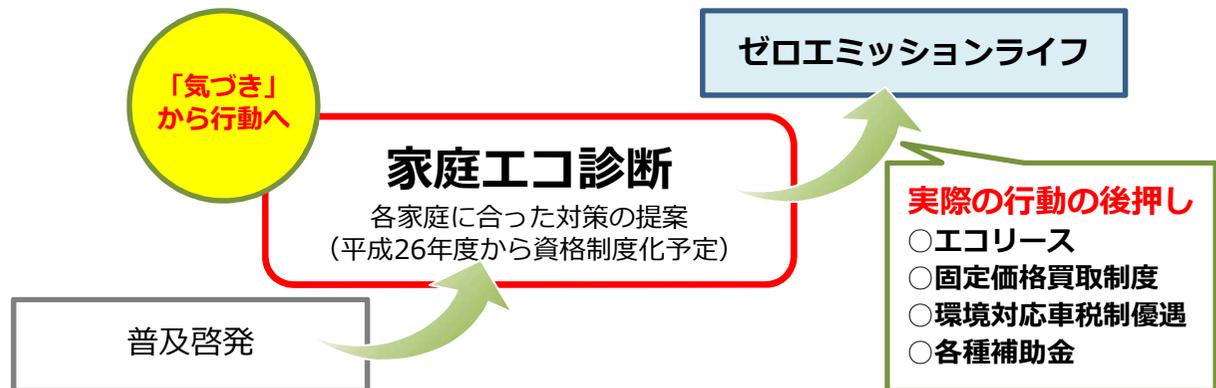
① 「うちエコ診断」の流れ



これらの一連の流れにより、「受診者別診断結果データ」「受診者属性データ」「受診者満足度データ」「診断員属性データ」等のデータを得ることができ、診断結果の定量化（推計）を行うための基本情報となります。

② 家庭エコ診断について

「うちエコ診断」をはじめとした家庭向けのエコ診断の実施者を「家庭エコ診断士（仮）」として資格制度化し、地域や民間企業等により全国で実施することで、「気づき」から具体的な行動への後押しを行います。



平成25年度の事業実施体制について

事業実施体制について

H23年度
約8,000世帯で診断実施

H24年度
約10,000世帯で診断実施

H25年度
約15,000世帯で診断実施予定

地域の低炭素化事業などの一環として実施
(平成25年度は12自治体で実施)
※5月末現在

全国事務局 (一般社団法人地球温暖化防止全国ネット)

診断ツールの提供、診断員の研修、コミュニティサーバの運用



地方自治体

地域のコミュニティの中で実施

自治体独自の事業として実施



H25年度は
全国45地域
で実施

環境省事業として実施



H25年度は
18社試行実施

民間企業のサービスとして実施を検証

【参考】H25年度民間試行実施事業者

